

R0E3308B0EPB00 補足資料

ご使用前に必ずお読みください

株式会社ルネサス ソリューションズ
ツール開発第二部

この度は、ルネサス エレクトロニクス株式会社製 M32C/8B グループ用エミュレーションプローブ R0E3308B0EPB00 をご使用いただき、誠にありがとうございます。本資料には本製品をご使用になる前に必要な情報が記載されております。

製品ご使用の前に必ずお読みください。

1. 本製品に対応するエミュレータデバッグ

- (1) M32C PC7501 エミュレータデバッグ (統合開発環境 High-performance Embedded Workshop 上で動作)
- (2) M3T-PD308F V. 3. 20 Release1

2. 本製品に対応した MCU ファイルとファームウェアのインストール

本製品に対応した MCU ファイルとファームウェアファイルに更新していただく必要があります。ファームウェア “m308b0f.s”、mcu ファイル “m308b0.mcu”、“m308b0_ad.mcu” を以下の手順でインストールしてください。

(1) M32C PC7501 エミュレータデバッグ 使用時

- ① 前準備として、M32C PC7501 エミュレータデバッグがホストマシンにインストールされているかを確認してください。ご使用のエミュレータデバッグが最新でない場合は、オートアップデートユーティリティを使用してアップデートしてください。
- ② 本製品用のインストーラ “m308b0fw_mcu_file_installer20081201.exe” (製品に CD で付属) をホストマシンで実行することで、MCU ファイルとファームウェアファイルの更新が始まりますので、画面に表示される指示に従ってインストールを実施してください。

なお、製品付属 CD をホストマシンに挿入することによりインストーラが起動します。起動しない場合は CD からホストマシンにインストーラをコピーして実行してください。

また、下記の URL から最新版のインストーラの ZIP 圧縮ファイルがダウンロードできます。インストール実行前にインストーラのファイル名の日付部分を確認し、最新版にてインストールしてください。

[ダウンロードページ] <http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/download/r0e3308b0epb00.htm>

(2) M3T-PD308F V. 3. 20 Release1 (保守製品) 使用時

- ① ファイルのコピーを開始する前準備として、エミュレータデバッグ M3T-PD308F がインストールされているかを確認してください。M3T-PD308F が最新でない場合は、最新版にアップデートしてください。
- ② 製品に付属している CD から MCU ファイル/ファームウェア圧縮ファイル “m308b0fw_mcu_file20090407.zip” を、M3T-PD308F がインストールされているホストマシンへコピーし、解凍してください。
(注意) 製品付属 CD をホストマシンに挿入により M32C PC7501 エミュレータデバッグ用のインストーラが起動した場合は、キャンセルを選択してインストーラを終了してください。
また、上記ダウンロードページから最新版の M3T-PD308F 用の MCU ファイル/ファームウェア圧縮ファイルがダウンロードできます。コピー前に圧縮ファイル名の日付部分を確認し、最新版にてインストールしてください。
- ③ 以下の手順で MCU ファイル、ファームウェアファイルをコピーしてください。
 - ・M3T-PD308F の実行ファイル (pd308f.exe) が存在するディレクトリに、“m308b0f.s” をコピーしてください。
 - ・上記ディレクトリ下の MCU ファイルのあるディレクトリ (Mcufiles) に、“m308b0.mcu”、“m308b0_ad.mcu” をコピーしてください。

(3) 新規ファームウェアファイルのダウンロード

- ① (1) もしくは(2)でMCUファイルとファームウェアファイルをコピーしていただいた後、通常、エミュレータデバッグの最初の起動時に自動的に更新を検出してファームウェアのダウンロードになります。確認画面でOKを選択し、ファームウェアのPC7501 へのダウンロードを行ってください。
- 自動検出にならない場合はR0E3308B0EPB00 ユーザーズマニュアル 2.7「ファームウェアのダウンロード」の節を参照いただき、メンテナンスモードで起動した後、ファームウェアファイルをダウンロードしてください。
- ② 正しくファームウェアがダウンロードできたことを確認するため、ファームウェアをダウンロードした後、以下2点を確認の上、セルフチェックを実施してください。
- ・ターゲットシステムが接続されている場合は、ターゲットシステムを外してください。
 - ・エミュレーションプローブ内のスイッチ設定は、出荷時の状態に戻してください。
- セルフチェックの詳細は、R0E3308B0EPB00 ユーザーズマニュアル 2.8「セルフチェック」の節を参照してください。

(4) MCU ファイルの選択

① “m308b0.mcu”を選択される場合

アナログ入力ポート選択ビット(0394h の bit2、bit1)を、AN00～AN07 もしくは AN20～AN27 を選択する場合、ポート P15 は入出力ポートとして使用することが可能です。

しかし、外部トリガモード(ADtrg、三相タイマ B2 とともに)は使用することはできません。

“m308b0.mcu”をご使用の場合は、R0E3308B0EPB00 基板SW5 は全て下側(OFF側)に設定してください。

なお、出荷時に SW5 の設定は全て下側(OFF 側)となっています。

② “m308b0_ad.mcu”を選択される場合

外部トリガモードをご使用の場合は、“m308b0_ad.mcu”をご使用ください。なお、アナログ入力ポート選択ビット(0394h の bit2、bit1)の設定で、以下の対応が必要となります。

- ・アナログ入力ポート選択ビットで AN0～AN7 もしくは AN150～AN157 を選択する場合
R0E3308B0EPB00 基板のSW5 を全て上側(ON側)に設定してください。

- ・アナログ入力ポート選択ビットで AN00～AN07 もしくは AN20～AN27 を選択する場合
R0E3308B0EPB00 基板のSW5 を設定することにより、アナログ入力ポート選択において、アナログ入力端子を1 端子毎に設定可能です。A/D変換に使用する端子をON側に、使用しない端子をOFF側に設定ください。
選択したビットに対応するポートP15 は入力に設定する必要があります。

SW5 の仕様及び設定方法につきましてはR0E3308B0EPB00 ユーザーズマニュアル「2.10.1 (2)の”スイッチSW5 に関して”」を参照願います。

マルチポート挿引モードを使用する場合、R0E3308B0EPB00 基板の SW5 を全て上側(ON 側)に設定してください。

3. 本製品ご使用上の注意事項

R0E3308B0EPB00 ユーザーズマニュアルに記載されている注意事項もご参照ください。

- (1) 本製品はメインクロックを 16 MHz 以下かつ CPU クロックを 32MHz 以下にしてご使用ください。
- (2) CPU 書き換えプログラムを拡張エミュレーションメモリに配置した場合、プログラムが暴走することがあります。
CPU 書き換えプログラムは内蔵 RAM 領域またはターゲットシステム上の外部資源をご使用ください。
本制限事項はエミュレータ使用時のみで発生し、実 MCU では発生しません。

4. 製品のお問い合わせ

本製品の技術的な内容に関するお問い合わせは、以下 URL の「技術サポート連絡書」フォームに従い必要事項を記入の上、ツール技術サポート窓口 csc@renesas.com まで送信ください。

[技術サポート連絡書] <http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/registration/support.txt>

以 上